

納付方法などを確認しましょう

75歳以上の人と、一定の障がいがあると認定された65歳以上の人加入する後期高齢者医療制度の保険料の納付方法や保険証の更新についてお知らせします。



保険料の納付方法

平成25年度の保険料決定通知は、7月中旬に発送します。納付方法は、年金の受給額や資格の取得時期などにより、年金からの引き落とし(特別徴収)と納付書または口座振替による納付(普通徴収)に分かれます(下表)。

平成24年度中に、保険料の減額・変更などにより年金からの引き落としが停止された人は、7月9月は納付書または口座振替による納付となります。

通知が届いたら、自分がどの納付方法に当てはまるのか必ず確認してください。

特別徴収を口座振替に変更

年金からの引き落としにより納

付している人で、口座振替による納付を希望する人は、7月31日(水)までに保険年金課(市役所1階)で納付方法変更の申し出と金融機関で口座振替の手続きをしてください。

10月の年金から引き落としが停止され、口座振替による納付に変更となります(これまでの納付状況などから、変更が認められない場合があります)。

納付が困難なときはまず相談を
後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療を支えるため、所得に応じた公平な負担になっています。突然の収入の減少や病気などによって納付が困難になったときは、納付方法について必ず相談してください。

保険証を一齐に更新

8月1日(木)に保険証を更新します。新しい保険証は、7月12日(金)に簡易書留で郵送します。現在持っている保険証は、有効期限が過ぎてから、個人情報に注意して破棄するか、次の施設に設置された保険証回収箱へ返却してください。

保険証回収箱設置施設

課、下総・大栄支所、市民課 赤坂・遠山分室、健康増進課(保健福祉館)

窓口負担割合を見直し

医療機関の窓口では、医療費の1割を負担することになっていますが、一定以上の所得がある人は3割負担になります。

この負担割合は前年中の所得により毎年8月1日に見直します。

住民税の課税所得が14.5万円以上の場合、医療機関窓口での医療費負担が3割となります。

ただし、次の①または②に当てはまる人は、申請により1割負担になります。

①同じ世帯の被保険者の収入額の合計が520万円(同じ世帯で、被保険者が1人の場合は383万円)に満たない人

②年収383万円以上の被保険者で、同じ世帯の70〜74歳の人を含めた収入額の合計が520万円に満たない人

対象と見込まれる人には申請書を送付しますので、忘れずに手続きをしてください。

※くわしくは保険年金課(☎201547)へ。

平成25年度の保険料の納付方法

対象	納付方法
平成25年2月支給時の年金から引き落としで納付していた人	年金からの引き落としによる納付
平成24年9月までに年齢到達や転入などにより、新たに資格を取得し、年金から引き落とされる要件を満たす人	
年度の途中で、保険料の減額や変更などにより、年金からの引き落としが停止された人	○7~9月は、納付書または口座振替による納付 ○10月から年金からの引き落としによる納付
平成25年5月までに年齢到達などにより、新たに資格を取得し、年金から引き落とされる要件を満たす人	納付書または口座振替による納付
納付書または口座振替により納付していた人(年金から引き落とされる要件を満たさない人)	
平成25年6月以降に年齢到達などにより、新たに資格を取得した人	

*年金から引き落とされる要件は、年金受給額が年間18万円以上で、介護保険料と後期高齢者医療保険料の合計が年金額の2分の1を超えない場合です。